

レポート作成について

助教授 濱本 正太郎
shotaro@kobe-u.ac.jp
<http://www2.kobe-u.ac.jp/~shotaro/>

シラバスに示したとおり、成績評価の対象とする。

目標

- ・ 国際法に関する問題について、さまざまな情報を適切・明確に文章で整理する。
- ・ 国際法に関する問題について、自らの意見を形作り、それをわかりやすい文章で表現する。

テーマ設定

レポート 3 本につき、同一のテーマを受講生自ら設定する。テーマ設定にあたっては、必ず濱本に一度は相談し、かつ同意を得ること。テーマ設定に関する相談は、授業の前後におよび e-mail で受け付ける。

ある程度具体的なテーマを設定すること。たとえば、「国際法とイラク戦争」ではなく、「イラク戦争において米英豪が安全保障理事会の新たな決議なしに武力行使を行ったのは違法か」、あるいは、「イラク戦争において民間施設に被害が発生していることは国際法上どのように評価されるか」という程度にまで絞り込む必要がある。

テーマ設定の期限は 10 月 27 日(月)の講義開始時とする。

内容

1 本目

設定したテーマに関する論文を 1200 字程度に要約する。論文の選択にあたっては、教官に相談し、同意を得ること。相談する前に、法学部 HP の「研究学習資源」にある「法学部生のための文献資料の探し方」を参考にしつつ自ら探しておくことが望ましい。

論文選択の期限 11 月 10 日(月)の講義開始時

レポート提出期限 11 月 17 日(月)の講義開始時

2 本目

1 本目とは異なる論文で、やはり設定したテーマに関するものを取り上げる。1200 字程度に要約し、400 字程度の批評をつける。論文の選択にあたっては、同様に教官に相談し、同意を得ること。

(裁判例を取り上げることも考えていたが、国際法の裁判例はほとんど外国語のものであるうえに、判例評釈にはそのための特殊な訓練が別途必要であるため、取り上げないこととした。)

論文選択期限 12 月 1 日(月)の講義開始時

レポート提出期限 12 月 22 日(月)の講義開始時

3 本目

設定したテーマにつき、自らの見解を述べる。4000 字程度とする。

国際法に基づく理由付けが適切になされているかどうか、および、文章表現が明晰かどうか、の 2 点を評価の対象とする。

レポート提出期限 1 月 26 日(月)の講義開始時

提出方法

E-mail で添付ファイル (Word または一太郎) として送付しても、印刷したものを提出しても良い。印刷したものを提出する場合は、教務掛に提出すること。

再提出

合格点に達しない場合、あるいは、さらに評価を上げることが可能である場合には、再提出を勧めることがあり得る。その場合、再提出の期限はその都度指示する。

必読書

以下の 2 冊をこれまでに読んだことがなければ、必ず熟読しておくこと。

本多勝一 『日本語の作文技術』(朝日文庫)

木下是雄 『理科系の作文技術』(中公新書)